

狂犬病予防集合注射日程



生後 91 日以上の飼い犬は、毎年 1 回の狂犬病予防注射が義務付けられています。下記日程表の会場（どの会場でも接種できます）か、市内・佐々町・平戸市・松浦市の各動物病院で接種をお願いします。
 ※会場、時間は昨年と変更している場合がありますのでご注意ください。
 ※荒天の場合など、集合注射を中止する場合があります。

実施日	会場	時間	会場	時間	会場	時間
4月9日 (木)	西海橋町内公民館	9:30 ~ 9:50	針尾支所	10:05 ~ 10:35	江上支所	10:50 ~ 11:15
	旧鹿町支所	9:30 ~ 10:10	南鹿町公民館	10:25 ~ 10:45	志戸氏公民館	11:05 ~ 11:20
4月10日 (金)	大岳台町公民館	9:20 ~ 9:50	もみじが丘中央公園	10:05 ~ 10:25	東浜町一組公民館	10:50 ~ 11:10
	船越町公民館	9:20 ~ 9:50	愛宕地区公民館	10:10 ~ 10:30	鹿子前町二組公民館	10:35 ~ 11:05
4月12日 (日)	早岐支所	9:10 ~ 9:50	広田地区公民館	10:10 ~ 10:50	奥山町公民館	11:05 ~ 11:35
	ソレイユ吉井	9:30 ~ 10:10	世知原支所	10:35 ~ 11:25		
	相浦地区公民館	9:10 ~ 10:00	小佐々町田原地区公民館	10:20 ~ 10:40	小佐々ふれあいセンター(旧漁村センター)	11:00 ~ 11:30
4月14日 (火)	山澄地区公民館(潮見町)	9:25 ~ 9:50	総合教育センター(清水地区公民館)	10:10 ~ 10:35	北地区公民館	10:50 ~ 11:10
	江迎地区公民館	9:30 ~ 10:10	鹿町町崎公民館	10:40 ~ 11:00		
4月15日 (水)	花高第三公園	9:15 ~ 9:45	若竹台公民館	10:00 ~ 10:45	木風町2組公民館	11:15 ~ 11:30
	俵ヶ浦町公民館	9:30 ~ 9:50	野崎町公民館	10:05 ~ 10:20	庵浦町公民館	10:35 ~ 10:50
4月16日 (木)	黒島港	14:00 ~ 14:15	黒島支所	14:25 ~ 14:50	高島港	16:10 ~ 16:30
4月19日 (日)	高砂公園(保健所裏)	9:30 ~ 10:00	天神公園	10:40 ~ 11:20		
	三川内支所	9:20 ~ 10:10	黒髪小正門前	10:40 ~ 11:20		
	大野地区公民館	9:10 ~ 10:00	柚木支所	10:20 ~ 11:10		
4月21日 (火)	鹿町町活性化センター	9:30 ~ 10:00	長串公民館	10:25 ~ 10:40	小佐々町神崎地区公民館	10:55 ~ 11:15
	宮津町公民館	9:30 ~ 9:50	南風崎町一区公民館	10:10 ~ 10:30	東明公園	10:50 ~ 11:10
4月22日 (水)	日宇支所	9:10 ~ 9:55	上原町公民館	10:15 ~ 10:35	三川内山公園	10:55 ~ 11:15
	江迎地区文化会館 インフィニタス	9:30 ~ 10:00	吉田乃館	10:15 ~ 10:40	下本山町公民館	11:00 ~ 11:15
4月23日 (木)	小佐々町新田公民館	9:30 ~ 9:45	浅子町公民館	9:55 ~ 10:10	相浦ニュータウン公民館	10:30 ~ 10:50
	上直谷公民館	9:30 ~ 9:50	岩谷口地区集会所	10:10 ~ 10:30	潜木公民館	10:55 ~ 11:15
5月24日 (日)	宇久行政センター	13:40 ~ 14:40	本飯良公民館	15:10 ~ 15:30	※5月24日(日)にフェリーが欠航した場合は5月31日(日)に延期します。	

- 上記会場での料金は 3,350 円(注射済票交付手数料 550 円+技術料 2,800 円)の予定です。病院での料金は各病院にお尋ねください。
- 初めての犬は登録が必要ですので、上記会場か動物病院で登録し、注射を受けてください(登録料 3,000 円)。
- 本市以外で登録が済んでいる犬は、注射前に生活衛生課で「犬の転入届」を済ませてください(上記会場では手続きできません)。
- 予防注射の際に犬の健康状態に不安がある場合は注射会場か、かかりつけの獣医師にご相談ください。

生活衛生課 ☎ 24-1111



出前授業で子どもたちに九十九島の魅力を話す宮本さん

九十九島と子どもたち

九十九島ビジターセンター センター長 宮本 博文 さん

私は生まれも育ちも大阪で、皆さんからは「もっさん」の愛称で呼ばれています。

私の記憶にある海といえば、大阪の人たちが泳ぎに行く兵庫県の瀬戸内海の海岸です。海面には日焼け止めの油がうっすらと浮いており、色は真っ黒で、口の中に入ってしまうとお腹を壊してしまうんじゃないかと思うくらい残念な海でした。当然、そのような海しか知りませんので、海を好きになるはずもなく、少年時代が過ぎ、大人になりました。

私は昨年4月から九十九島ビジターセンターで九十九島の魅力を伝える仕事をしています。ビジターセンターの展示物や企画展、館内や野外でのイベント、出前授業、受け入れ講座などさまざまなスタイルで

九十九島の魅力を発信しています。

仕事では子どもたちと接する機会が多く、イベントや受け入れ講座などで九十九島の島々や生き物などの話をするとき心掛けていることがあります。それは、今の子どもたちが進学や就職などで佐世保を離れるかもしれないときに「私たちの故郷には九十九島という素晴らしい場所があるんだ」と佐世保で育ったことを誇りに思えるような話をすることです。子どもの頃から九十九島が当たり前のように目の前にあると、九十九島の素晴らしさに気付かないかもしれません。しかし、私には黒い海の記憶しかありません。佐世保の子どもたちに「君たちは幸せ者なんだよ」ということをこれからも伝えていきたいです。



宮本博文さん



「うみかぜガイドウォーク」で九十九島の植物を観察する子どもたち

観光課 ☎ 24-1111